



2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月1日

上場会社名 株式会社地域新聞社 上場取引所 東
 コード番号 2164 URL http://www.chiikinews.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 旬
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 松川 真士 TEL 047-420-0303
 四半期報告書提出予定日 2020年4月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第2四半期の連結業績（2019年9月1日～2020年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	1,919	△2.4	△25	—	△16	—	△22	—
2019年8月期第2四半期	1,966	△4.4	11	—	34	—	18	—

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 △22百万円（—%） 2019年8月期第2四半期 18百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	△12.20	—
2019年8月期第2四半期	10.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	1,385	428	30.9
2019年8月期	1,501	456	30.4

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 428百万円 2019年8月期 456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年8月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,813	△4.5	△39	—	△30	—	△42	—	△22.94

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社 除外 -社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期2Q	1,843,800株	2019年8月期	1,843,800株
② 期末自己株式数	2020年8月期2Q	436株	2019年8月期	436株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期2Q	1,843,364株	2019年8月期2Q	1,843,479株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移していましたが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、英国のEU離脱問題に伴う欧州経済の不確実性、さらに新型コロナウイルスの蔓延による世界経済の停滞等、景気を下押しするリスクが存在し、先行きが不透明な状況となっております。また、個人消費におきましても、消費税増税の影響は軽減税率等の施策の効果もあり限定的でしたが、新型コロナウイルスの影響による外出自粛、雇用の不安定化により下振れのリスクを含んで推移しています。

当社グループの属するフリーペーパー・フリーマガジン市場は、WEBやSNSをはじめとした広告媒体の多様化により、顧客の獲得や価格競争など、依然として厳しい経営環境が続いております。このような状況の下、当社グループの基盤事業である新聞等発行事業は、2020年2月末現在で、1都4県75エリアで75版を発行、週間の発行部数は約292万部となりました。

新聞等発行事業におきましては、地域新聞社では繁忙期である10月～11月にかけて台風被害および消費税増税による広告の減少の影響を大きく受けましたが、分業とシステムを活用した営業活動の最適化を行うことにより、顧客への提案の質を高める取り組みを実施しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は回復傾向となっております。また読者向けに特化したサイト「ちいき新聞web」やSNSサービスなど、ちいき新聞紙面と他サービスの連動も進んでおります。今後につきましては、4月より配布エリアの再編を実施し、読者・顧客にとって最適なエリア展開を模索していくとともに、営業活動をブラッシュアップしていく施策を実施してまいります。

ショッパー社の新聞等発行事業におきましては、顧客数の減少傾向が続いており、苦戦を強いられておりますが、広告効果をより高めるために、読者向けに特化したサイト「ショッパー電子版」との連動を積極的に進めております。また、採算性についても引き続き注視し、経営資源の効率的な活用に努めてまいります。

折込チラシ配布事業におきましては、市場の成熟やWEBサービスとの競争の激化、紙の価格の高騰等の要因により売上高が伸び悩んでおりますが、地域新聞社だけでなくショッパー社においても、それぞれの地域にカスタマイズされた独自の地図情報システム(GIS)を活用することにより、広告主の顧客ターゲットを明確にした、効果的かつ広告効果の最大化を図るサービスを提供してまいります。

販売促進総合支援事業につきましては、行政のポスティングに対する需要が高まっていることにより引き合いが増えております。また、他県からも発行エリア内での観光PRの依頼を受けており、当社サービスのインフラに注目が集まっております。

その他事業につきましては、WEB事業、業者紹介サービス事業、主催公演事業といった新規事業に経営資源を投下し、育成を図っております。特に、業者紹介サービスにおいては、「ちいき新聞の外壁塗装」、「ちいき新聞の外構・エクステリア」がいずれも、優良な業者を選択したい読者のニーズを捉えており、2019年10月より、業者紹介サービスの第3弾として介護施設・高齢者住宅紹介サービス「ちいかい」もスタートしました。同サービスにつきましては、今後さらにサービスの質を向上させつつ、対象ジャンルを広げていく方針であります。

上記のような対策をとってまいりますが、新聞等発行事業、折込チラシ配布事業につきましては、新型コロナウイルスの影響により、広告出稿量の減少が3月以降当面の間続くと予想されます。またその他事業につきましても主催公演事業・チケット販売代理事業において、大規模イベント自粛による売上高減少、カルチャー事業において、3月中の全講座休止による売上高減少の影響が出ることが見込まれております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、業者紹介サービスは好調だったものの折込チラシ配布事業が伸び悩み1,919,580千円（前年同期比2.4%減）と減少いたしました。また、販売費及び一般管理費の圧縮及び保険解約益があったものの売上高の減少が影響し経常損失16,676千円（前年同期は経常利益34,220千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は22,500千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益18,667千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

A. 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ116,316千円減少し1,385,218千円となりました。これは、主に売掛金が14,798千円増加しましたが、現金及び預金が72,642千円減少したほか、投資その他の資産のその他に含まれている保険積立金が30,000千円減少し、投資その他の資産のその他に含まれている長期前払費用が18,540千円減少したことによります。

B. 負債

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ43,552千円減少し639,810千円となりました。これは、主に未払法人税等が26,620千円減少したほか、未払金が15,367千円減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ44,732千円減少し317,393千円となりました。これは、主に長期借入金が39,996千円減少したことによります。

C. 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ28,030千円減少し428,014千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失22,500千円の計上のほか、配当金の支払いにより5,530千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の連結業績予想につきましては、2020年4月1日に公表いたしました「2020年8月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	730,258	657,615
売掛金	436,560	451,359
商品及び製品	41	34
配布品	—	4,215
仕掛品	12,122	9,431
貯蔵品	1,015	1,453
その他	48,862	33,637
貸倒引当金	△2,100	△2,000
流動資産合計	1,226,762	1,155,747
固定資産		
有形固定資産	71,038	67,895
無形固定資産	32,113	33,807
投資その他の資産		
その他	180,692	136,743
貸倒引当金	△9,072	△8,975
投資その他の資産合計	171,619	127,768
固定資産合計	274,771	229,471
資産合計	1,501,534	1,385,218
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,053	148,996
1年内返済予定の長期借入金	79,992	79,992
未払金	301,863	286,495
未払法人税等	35,654	9,033
賞与引当金	2,721	1,850
ポイント引当金	700	600
返品調整引当金	270	—
その他	109,108	112,842
流動負債合計	683,363	639,810
固定負債		
長期借入金	145,020	105,024
退職給付に係る負債	175,087	175,236
資産除去債務	19,170	18,681
その他	22,848	18,451
固定負債合計	362,126	317,393
負債合計	1,045,489	957,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	203,112	203,112
資本剰余金	133,112	133,112
利益剰余金	120,474	92,443
自己株式	△654	△654
株主資本合計	456,045	428,014
純資産合計	456,045	428,014
負債純資産合計	1,501,534	1,385,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
売上高	1,966,421	1,919,580
売上原価	538,951	531,461
売上総利益	1,427,469	1,388,118
返品調整引当金戻入額	2,540	270
返品調整引当金繰入額	1,370	—
差引売上総利益	1,428,639	1,388,388
販売費及び一般管理費	1,417,218	1,413,586
営業利益又は営業損失(△)	11,421	△25,197
営業外収益		
受取利息	16	79
保険解約益	22,811	7,968
助成金収入	1,394	1,324
その他	967	363
営業外収益合計	25,190	9,734
営業外費用		
支払利息	1,675	1,214
保険解約損	710	—
その他	5	—
営業外費用合計	2,391	1,214
経常利益又は経常損失(△)	34,220	△16,676
特別損失		
減損損失	183	—
特別損失合計	183	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	34,037	△16,676
法人税、住民税及び事業税	21,592	3,190
法人税等調整額	△6,222	2,633
法人税等合計	15,369	5,824
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,667	△22,500
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	18,667	△22,500

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,667	△22,500
四半期包括利益	18,667	△22,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,667	△22,500
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	34,037	△16,676
減価償却費	17,284	18,688
減損損失	183	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,600	△196
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,763	△871
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	906	149
保険解約損益(△は益)	△22,101	△7,968
受取利息及び受取配当金	△16	△79
支払利息	1,675	1,214
売上債権の増減額(△は増加)	△5,411	△14,694
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,805	△1,954
仕入債務の増減額(△は減少)	4,632	△4,057
未払金の増減額(△は減少)	△27,862	△17,408
その他	43,609	11,242
小計	29,767	△32,612
利息及び配当金の受取額	6	69
利息の支払額	△1,675	△1,214
法人税等の支払額	△3,441	△28,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,657	△61,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△300
有形固定資産の取得による支出	△3,499	△3,563
無形固定資産の取得による支出	—	△12,076
従業員に対する貸付金の回収による収入	561	335
保険積立金の解約による収入	51,836	56,508
敷金及び保証金の差入による支出	△708	△380
敷金及び保証金の回収による収入	21	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	47,911	40,525
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△39,996	△39,996
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,597	△5,873
自己株式の取得による支出	△514	—
配当金の支払額	△3,672	△5,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,780	△51,345
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20,789	△72,642
現金及び現金同等物の期首残高	504,345	530,258
現金及び現金同等物の四半期末残高	525,134	457,615

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。